

能登半島地震支援活動報告 2024・4・15

このたびは本当に多くの皆様から支援金とともに温かいメッセージを頂戴し、あらためまして心から感謝御礼申し上げます。本来であれば、お一人お一人にお礼をお伝えしたい気持ちですが失礼をどうかお許しください。

私達に託していただきました沢山の応援は、被災地区の妊婦さんや乳幼児、子育て家庭、支援センターや保育園、こどもの居場所などに実際に必要としているニーズを聞きながら能登地区に出向き、または金沢以南で生活している親子に届けてきました。実際に会い、現状を見て、話を聴き、つながりをつくりながら活動を続けています。まだまだこの先も子育て家庭を支えることも、能登地区の支援者の仲間達を支えることも必要です。これからも継続して活動していきます。発災からこれまでの一部ですが、ご報告させていただきます。

1月2日から、とにかく情報を集める手段として日頃から関係している仲間達とネットワークをつくりはじめ、水や食料、オムツ、ミルクなど物資の呼びかけの協力をはじめました。道路の寸断で能登への運搬はできる状況にはありませんでした。



全国の皆さんからの支援物資



1/13 ネットワーク「のど応援隊」を発足



自分達に何ができるのか、見切り発車でも動かずにはいられない気持ちで無我夢中でした。同時に NPO法人ホームスタートジャパンやNPO 法人子育てひろば全国連絡協議会などが支援金活動の呼びかけをはじめてくれました。その他、お付き合いのある団体、個人の方々……沢山の応援が届き始めました。そのおかげで初動できました。



能登の地図に色別で支援センター、子ども園、保育所、児童館ほか、子ども関係の場所を確認



毎日届く段ボールの中身は温かな気持ちもいっぱい詰まっています





あったかシルク腹巻・癒しハンドジェル



一つ一つにメッセージが書かれてあります



子ども達のためにお菓子も



企業さんからも
たくさん!



子ども達のために
ダンボールハウスが届きました
子どもの支援物資です!



手作りスタイ、おもちゃ、ママのための温かグッズ、癒し
グッズ、手編みのひざ掛け、下着、お菓子、食品・・・どれも
愛がいっぱいでした。本当にありがとうございました。

♥ありがとうございます♥

NPO 法人ホームスタートジャパン・NPO 法人子育てひろば全国連絡協議会・

=所属団体を通じて同じ仲間達からの応援はとても勇気づけられました。ありがとうございました=

キンキダンボール(株)・マテル・インターナショナル(株)・カネハツ食品(株)・(株)シルクふぁみりい・ライブコットン
(株)ダッドウェイ・全国食支援活動協力会:平野様<(株)ロッテ・カルビー(株)・明治ホールディングス(株)・キュー
ピー(株)>などなど本当に皆様、ありがとうございました。

これらを託され、被災した子ども達、妊婦さん、ママ、パパ達、一緒にいる
おじいちゃんおばあちゃんに、また、被災地で踏ん張っている支援者の仲
間達に届けました。



1月11日から金沢市の妊婦さんの福祉避難所を助産師会と一緒にサポートすることになりました。
 車が無かったり、たった一人で避難してきた妊婦さん、上のお子さんも一緒だったり、一人一人違う状況の中、寄り添いながら生活のサポートにはいりました。妊婦さんも子ども達も増えてきて、2月11日からあそび場「プレイルーム」を毎日開設することになりました。寒さに冷え切った身体に「湯たんぽ」を提供し、温かい部屋着もお渡しできました。一人一人に必要なものを聞いて準備し、お渡ししています。

プレイルームのご案内

こども達のあそび場とお勉強ママさん/パパさんに家族の交流など、楽しんでいただくために4階多目的室「プレイルーム」をオープンしました！
 ボランティアスタッフがいますので、どうぞご利用ください。

・月・水・金 → 15:00~17:00 (午後)
 ・火・木・日 → 10:00~12:00 (午前)

土曜日や上記時間以外でもご利用いただくために保護者の皆さんにご協力をお願いします。
 ・お子さんだけの入室はできません。必ず保護者の方と一緒にお願いします。
 ・最初と最後に利用される方は、鍵の受け渡しを助産師にお願いします。
 ・スタッフがいない時間帯、飲食はお控えください。各お部屋をお願いします。
 ・お部屋のついでには現貨在庫でご利用をどうぞよろしくお願いします。

利用時間は
 月・水・金 → 10:00~12:00 (午前)
 火・木・日 → 13:00~16:30 (午後)
 土 → 9:30~12:00 / 13:00~16:00

プレイルーム運営：認定NPO法人おんこの広場あまがわ

〇妊婦さんの福祉避難所で交流スペース&遊び場開設
 <こども家庭庁:こどもの居場所づくり支援モデル事業助成金>にて実施
 2月11日からオープン
 週6日 午前、午後交代でスタッフ常駐



ママ達もカフェコーナーで休憩したり交流を楽しみます

こども達は「プレイルーム」が日課。
 大学生スタッフが学習コーナーも見てくれます



2月末、お誕生会をしました



ベビー服やガーゼを準備

4月、近くの公園は桜満開

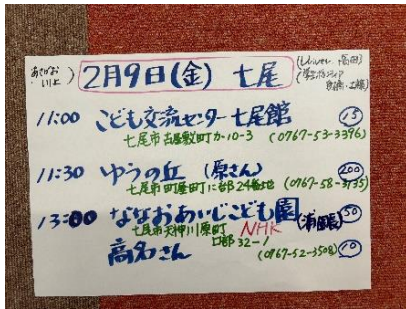
産まりました！能登ベビーちゃん。よくがんばったね。おめでとう！！おめでとう！！



妊婦避難所、みなし仮設でのアパート、それぞれの場所で赤ちゃんが産まれてきています。
 希望です☆
 みんなにお祝いを届けています。



七尾市へ：2月9日、まだまだ道路状況も厳しい中、ようやく物資を積んで七尾市に向かうことができました。企業さんからいただいたダンボールハウスを届け、一緒に遊びました。子ども達の笑顔にこちらが元気をもらいました。



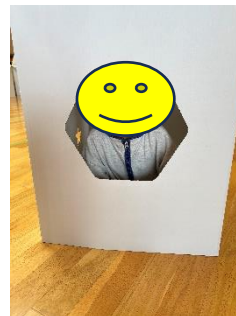
2トントラックで出発



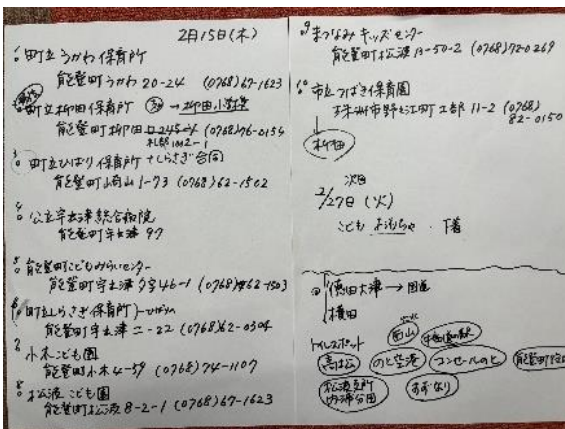
こども園は敷地が割れ、断水が続いていました



子ども達と遊んでたくさんの笑顔に元気をもらったのは私達です



能登町から珠州市へ：2月15日、朝6時、能登町と珠州市へ向かいました。受け入れの始まった園や支援センターなどに必要なものを聞き、掃除シートや先生達のエプロン、お昼寝用の毛布、ハンドクリームや子ども達のおやつなどを積んでいきました。奥能登への「のと里山海道」はまだまだ厳しく、痛ましい状況です。



園のお向かいの状況です



プレハブで合同保育だったり、小学校に間借りしての保育だったり大変な苦勞をされながらの先生達のお話しでした。最初のうかわ保育所の先生からグータッチのバトンを預かり最後の珠州市のつばきこども園の先生までつなげました

輪島市へ:2月27日、朝6時、輪島市へ向かいました。お世話になっている大事な仲間達のもとへようやくです。
 この日の現場のニーズは、こどもの下着、大人の下着、子ども達のおもちゃやゲーム、おやつ、ママ達の癒しグッズ、文具などでした。ボランティアさん達の手作りスマホホルダーも持っていきました。

2月27日(火)
 ① 輪島市ふれあい健康センター (尾城地区)
 輪島市河井町2部 287-1
 保健師 渡高さん
 (2部→子供環境センター、児童センター)
 羽村さん

おまけ
 ティーンラボ
 ② 輪島市河井町2部 231-150
 小浦詩子

訪問者(押入) 川上、田村、多橋、山田(HST)・・・さん

トレスポット
 高松、文水利さん、輪島市役所2F
 (輪島市二ツ町2-29)



輪島朝市のジオラマです

この時も震度3の余震がありました



支援センターも児童館も避難所で、先生も避難所生活しながらこどもの居場所再開の準備をされていました



ホームスタートはくさんのビジターさん達が手作りでスマホショルダー130個をつくりました。一つ一つ柄が違うので物資を見に来られるママ達や被災地に持っていき、選んでもらっています。皆さん嬉しそうに選んでくださいます。



おとうさんも

穴水町へ：4月4日、穴水町にむかいました。支援センター、児童家庭センター、こども園2か所に寄らせていただきました。この日はダンボールハウスの他に子ども達の下着、文具、おやつなどと一緒にスマホショルダーやひざかけ、掃除シートも届けました。

- 4月4日(木) 穴水町 → 青空町
- ① 赤坂公民館 (中々先生) 0768-52-4141
 - ② 赤坂公民館 穴水町志乃南 15-1-3 0768-52-3527
 - ③ 子育て支援センター 穴水町志乃南 2-30番地 0768-52-1150
 - ④ 子育て支援センター (赤坂公民館内) 穴水町志乃南 92 0768-52-2130
 - ⑤ 神杉保育園 穴水町志乃中居 153-1 0768-56-0444
 - ⑥ 光研保育園 穴水町志乃北 14 0768-56-1023
 - ⑦ 子育て支援センター 能登町志乃南 97
 - ⑧ 子育て支援センター 能登町志乃南 13-50-2 0768-72-0247



発災後の給食メニュー
材料の調達が大変な中2月5日からです



白山市に集団避難してきた中学生に UNO をもっていきました

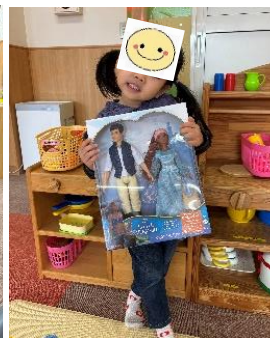


～中学生の皆さんへ～
こんにちは。
白山市の松任駅近くにある
「認定 NPO 法人おやこの広場あさがお」といいます。
今日は、ホームスタートという私達の活動をいつも応援してくれている、東京のおもちゃ会社
「マテル・インターナショナル株式会社」さんから、皆さんへ
UNO&ボードゲームが送られてきました。代理で届けますね。
勉強の合間にぜひ、楽しんでください。

4 月になり、少しずつ温かくなってきました。能登の風景は今も全く変わっておらず、より悲壮感が漂っています。唯一、仮設住宅の工事がみられるようになりましたが、複雑な思いになります。季節が変わると着るものも変わり、衣替えですが、先日、プレイルームで汗だくになって遊んでいるこども達の服は1月に着てきたものと同じでした。洗濯と乾燥を繰り返して縮んでしまったという話もききます。能登の親子の皆さんの踏ん張りをこれからも応援していきますので、皆さんもどうか心を寄せてくださいますと幸いです。



たくさんの応援メッセージありがとうございます。
能登のママ達、パパ達、こども達、おじいちゃんやおばあちゃんに会い、沢山話をして、沢山一緒に泣きました。私も同じ能登の出身で、能登は大好きな帰る場所で、みんなに育てられてきました。だから、これからもずっと能登の子ども達も、ママ達、パパ達もみんな応援していきます。



ママ達や支援者仲間の皆さんから

昨日いただいた毛布やスウェットのおかげで温かくて、避難してきてはじめてのぐっすり、6時間も眠れました！ゆたんぽもお腹を温めてくれて安心でした。

眠れたおかげか、からだも少し楽で、食欲も出てきたので、気分も良く快適に過ごせそうです。

丁寧に寄り添ってお話を聞いてくださって、すぐに悩みを解決してくださって、本当に感謝しています。

今日はありがとうございました😊

大きな声を出したり、自分のやりたいことをやったり、身体を動かしたりする環境が避難後はなかなか持てなかったのが、思い切りやれている娘を見て、とっても嬉しくなりました。

避難生活、避難所とは違ってとても恵まれた環境にいるのですが、気を使うことも多くて...私もお話をすることができて、リフレッシュできました。ありがとうございます！

こんにちは。

能登に戻ってもこうして気にかけていただき本当にありがとうございます。

病院への送り迎え、加賀に避難した両親のところへも連れて行っていただいたり、誕生日ケーキでお祝いしていただいたり、肌着などたくさんいただいたり、本当に親身になっていただきました。

不安で不安で仕方がない中、優しいことばに救われていました。本当にありがとうございました。

先日は道路状況も悪い中、穴水町の子ども達や私たち支援者のために、沢山の物資を届けてくださり、本当にありがとうございました。

こども園の方々の喜んでる姿を見て、私も嬉しかったです。

今度、園に訪問して、ダンボールハウスで遊んでいる姿を見てきたいと思っています！

今回、皆さんと出会い、パワーと笑顔に感激し、私も元気をもらいました！

そして、いただいた手編みのひざ掛けを男性職員に内緒でこっそりと女性職員で分け、膝元をあったか〜くしてデスクワークをしております。

ありがとうございます。

どうか、今後ともよろしく願いいたします。

ありがとうございました。

川上さんが居てくださるお陰で、私達も安心して子どものことに注力できましたし、我々では賄いきれない細やかな支援には本当に感謝しています。

またいつかお会いする事があった際には何卒よろしくお願い致します。

これからも続く果てしない毎日。
「普通」の豊かさ、「当たり前」の尊さを取り戻したい。



遊び場にはみんなで作ったこいのぼりが泳いでます
みんな大きくなあれ！



最後に

このたびは、皆様から沢山の支援金、そしてメッセージをいただきましたこと、本当にありがとうございました。本来ならば、お礼のお返事をしなくてはいけないところ、まだその作業ができておらず、申し訳ございません。この場をお借りして、お礼申し上げます。一緒に応援していただき、ありがとうございました。

私達に託していただいた温かな応援は能登の親子や支援の場に直接届けることができます。

私達は発災後から今もずっと能登地区の妊婦さんや親子の支援を続けております。こども達が安心して遊び、学べる日常生活の場は大きく様変わりしてしまい、あっという間に半年が過ぎました。この間、能登のママ達、パパ達、こども達、おじいちゃんやおばあちゃんに会い、沢山話をして、沢山一緒に泣きました。季節が変わり、年度が替わり、今、避難所や物資提供も次々とまとめられたり、閉じられています。

しかし、今なお生活の拠点に迷う子育て家庭は沢山おり、月日が経つからこそ、新たな問題や課題も聞かれます。あっという間に来年の1月1日がきます。それぞれに踏ん張って様々な課題とむきあわれています。

語りきれない怒涛の日々でした。この間、自分の無力さを痛感し、

自分自身の感情を維持することも大変だった時期もありました。

でも、何よりも産まれてくる赤ちゃんやこども達の笑顔は希望です。

被災地区の現状を自分の目で見てまわり、私自身が生まれ、育てられた大好きな能登にこれからもつながりを絶やさず、

微力でもしっかり寄り添っていくことが、今やるべき事と思っています。

2024. 4. 15

